

2020年 5月吉日

会員各位

第70回全国学術大会の自由論題・テーマ分科会募集のお知らせ

2020年日本現代中国学会全国学術大会を、10月31日(土)・11月1日(日)の両日、**明治大学駿河台校舎**において開催することになりました。次ページ以下の応募要項の通り、会員の皆様から自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を募集いたします。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルスの流行状況によっては、開催日程、方法などについて変更を余儀なくされることも考えられます。この点をご留意いただくようお願い申し上げます。

今年の全国学術大会の共通論題は「**大中華圏における互動、凝集、離反の力学変遷**」です。

大陸中国、香港、台湾という3つの華人社会が織りなす相互作用の力学が、戦前から今日まで、いかに質的な変遷を遂げてきたかを、歴史・政治、法、経済、文化・文学・言語の各領域に即してトレースします。

大陸中国が戦後、「近代」の軌跡を外れ、社会主義の道を選択したのに対して、香港、台湾では資本主義が維持され、むしろ国際社会と共にありました。台湾は中華民国が大陸で目指した「近代」の遺産を引き継ぎ、近代国家建設が推進されました。香港は大陸中国からの亡命者の拠点となり、国際社会に開かれた経済や文化の窓としての役割を担うこととなりました。香港も台湾もアジアのリトルドラゴンの一角を占めて、経済の高度成長を遂げました。1970年代以降、大陸中国が国際社会へ復帰すると、台湾では政治の民主化が起動し、選挙によって定期的に政権交代を繰り返す民主政体を成熟させるに至りました。他方、1997年に植民地・香港が中国に返還され、香港は「一国二制度」の建前のもと特別行政区となり、この前後から大陸中国の市場経済化、経済成長を牽引していきました。

改革開放から2000年代の初めくらいまでは、大陸中国の人びとにとって、香港、台湾はあこがれの的であり、法制度、経済、文化の面で学ぶべき対象と認識されたのです。煽情的な「港台歌曲」の旋律、歌詞は大陸中国人の心を深く魅了し、ポップカルチャーの流行も港台の後を追いました。ところが大陸中国が急速に経済発展を遂げ、港台を遙かに凌駕するに至ると、それまでの関係力学は大きく変容していきます。とくに経済的には香港、台湾はむしろ大陸中国への依存度を高めていき、それは人、カネ、モノ、情報の流れを大きく変えていきました。たとえば、香港や台湾の若者が高給に引かれて大陸中国に出稼ぎに行ったり、中国の名門大学に留学し、学位を得たりすることもありふれた光景となります。

しかし、こうした局面には最近、とくに昨年くらいから急速に再度の変容が生じつつあるように見えます。恐らく2019年に香港で生じた「反送中」に端を発した民衆運動は、経済

力にものを言わせた大陸中国の優越的構造に新たな変化を生じさせつつあります。さらに、2020年1月の台湾総統選挙における蔡英文氏の圧勝にも、香港での一国二制度の行き詰まりが大きく結果を左右したと言われます。そして、今般のコロナ禍の世界的蔓延も大中華圏の構造に微妙な影を落としているように見えます。このように大陸中国の経済成長に陰りが見えてきたこととも相まって、大中華圏の互動関係は新たな歴史的段階に入ったものと見られます。

そうした歴史の転換点にある現在、戦前以来の3つの政体の互動関係の質的変遷を振り返り、将来の行く末を展望してみたいと考えています。

応募要項

自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を以下のように募集します。事務的混乱を避けるために、やや煩瑣なご依頼事項を列挙しておりますことをお許しください。

①自由論題での報告（一人の報告時間は25分程度）をご希望の会員は、氏名・所属・報告テーマおよび要旨（800字程度）を下記⑩の連絡先までお送りください。なお、**大学院生**は指導教員、またはそれに相当する会員の推薦状（推薦者の氏名、所属、連絡先、推薦理由を記載。書式は自由）が必要です。報告者は会員でなければなりません（非会員の場合は下記⑤を参照）。

②テーマ分科会の開催（報告者2～3名、約2時間）をご希望の会員は、企画者の氏名と所属、企画テーマ、討論者の氏名と所属、司会者の氏名と所属を確定したうえで、下記⑩の申込先までお送りください。分科会は原則として会員で構成するものとし、変更はできません。確認のため、報告者、討論者、司会者が会員であるかどうかを明記してください。

③自由論題およびテーマ分科会の応募に関するご連絡は、すべて電子メールでお願いします。その場合、ウィルス感染防止のため、**添付ファイルは使用せず、メール本文にテキスト**で記載してください。なお、推薦状も原則としてメールで作成し、応募者はそれを転送するかたち（メール本文にペースト）としてください。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

④締め切りは**6月26日（金）**とします。

⑤学会非会員の方で、自由論題での報告をご希望の方は、入会が応募の条件となります。入会申請をしていただいたうえで（日本現代中国学会のウェブサイト <http://www.genchugakkai.com/nyukai.html> を参照）、ご応募ください。入会手続きが報告発表までに完了しない場合でも、応募済みであれば発表は可能です。

⑥大会参加の旅費および宿泊費等は自己負担となります。

⑦報告希望者、テーマ分科会開催希望が多数に上る場合は、内容や会員歴などをふまえて調整させていただくことがありますので、あらかじめご承知おきください。

⑧応募をされた方には、メールにて**実行委員会より応募受理の連絡**をいたします。メールを

送信した後、1週間以内に連絡がないときは、再度メールにてお問い合わせください。

⑨自由論題報告者は、大会10日前の**10月21日（水）**までに報告原稿（フルペーパー）またはレジュメのPDFファイルを実行委員会まで提出してください。提出は任意です。提出された資料にはパスワードを付し、期間限定で学会ホームページに掲載します。なお、パワーポイント等の機器使用を希望される場合は申し込み時に必ず明記してください。

⑩応募申込先は、以下の実行委員会メールアドレスです。

■genchu2020@gmail.com

⑪応募のメール送信をする際、件名を以下のようにしてください。

- *自由論題への応募の場合は「自由論題」
- *テーマ分科会応募の場合は「テーマ分科会」

この機会に当学会未加入の優秀な大学院生の皆様にも、ぜひ入会と報告発表をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

日本現代中国学会第70回全国学術大会
実行委員会事務局（明治大学鈴木賢研究室）